

オンライン公開セミナー

予測不能な世界における 平和構築

トランプ2.0のグローバルな影響

2025年 2月 7日 (金)

14:00 ~ 17:00

当日はYouTubeでオンライン配信を行います。本セミナーはどなたでもご参加頂けます。参加希望の方は、以下のURL、またはQRコードからアクセスしてご参加下さい。

YouTube LIVE

URL: https://youtube.com/live/_2nBoWiVV-A?feature=share



モデレーター

ケビン・クレメンツ
戸田記念国際平和研究所 所長



パネリスト

キース・クラウス オリビア・ストークス・ドライアー

リサ・シャーク スタイン・トネソン ジャナニ・ビベカーナンダ

モデレーター・パネリスト



ケビン・クレメンツ

開会挨拶

「世界の現状を俯瞰する」

ニュージーランド・オタゴ大学の平和紛争研究科の初代学科長および国立平和紛争研究所（NCPACS）の創設者。この役職以前には、オーストラリア・クイーンズランド大学の平和紛争学教授および平和紛争研究所・初代所長を務めた。博士は、平和構築および紛争解決の分野における学術的分析と実践の専門家であり、紛争解決、平和構築、軍縮、人間の安全保障の課題における様々な非政府、政府、政府間団体に対する助言を行っている。



ジャナニ・
ビベカーナンダ

「気候変動下における平和の条件」

「気候変動と紛争」プログラムを担当する上級研究員。また、ベルリンの環境政策研究機関「adelphi（アデルフィ）」の気候外交・安全保障プログラムの責任者でもある。アフリカ、南アジア、ヨーロッパのさまざまな地域において、気候変動、平和、安全保障に関する15年以上の経験を有しており、各国政府、多国間機関、市民社会と協力してきた。このテーマに関する論文は『Nature』誌をはじめとする多数の出版物に掲載されている。



キース・クラウス

「平和への着実な一歩：グローバルな安全保障体制の再構築を」

「協調的安全保障、軍備管理と軍縮」プログラムを担当する上級研究員。ジュネーブ国際・開発研究大学院の国際関係教授、同大学院の紛争・開発・平和構築研究センター（CCDP）ディレクターおよび「Principles for Peace Foundation」の首席政策顧問を務める。



リサ・シャーク

「民主主義を守るデジタル公共広場を設計」

「ソーシャルメディア、テクノロジーと平和構築」プログラムを担当する上級研究員。米国・ノートルダム大学クロック国際平和研究所ではリチャード・G・スターマン・シニア・チェア兼教授を務め、[PeaceTech and Polarization Lab](#)を率いている。



オリビア・ストークス
・ドライアー

「二極化の中で民主主義は生き残れるか」

「民主主義の危機と課題」プログラムを担当する上級研究員。カルナ平和構築センターで長年エグゼクティブ・ディレクターを務めた後、現在は同センターの上級顧問を務める。これまでに20以上の紛争被害国において現地パートナー団体と共に平和構築プログラムの開発・指導を行ってきた。



スタイン・トネソン

「不安定な世界にこそ安心供与の必要性」

「北東アジアの平和と安全保障」プログラムを担当する上級研究員。オスロ国際平和研究所（PRIO）研究教授、ジャーナル・オブ・ピース・リサーチ誌アソシエイト・エディター、グローバル・アジア誌編集委員。研究分野は東アジアの平和、東南アジアの国家構築、南シナ海の紛争、ベトナムの革命と戦争、ミャンマーの国内武力紛争におけるソーシャルメディアの役割。